

2012 年 年 間 (1-12 月) 課 税 出 荷 数 量 ヘ ッ ド ラ イ ン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、東日本大震災の影響の反動もあったが、7月の天候不順や年末にかけての寒波の影響などにより、マイナス(▲1.0%)。
- ◆ ビール市場は、マイナス(▲0.3%)。
- ◆ 発泡酒市場は、プラス(▲7.9%)。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス(+1.1%)。構成比は35.4%に。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、マイナス(▲2.7%)。
- ◆ ビール計は、マイナス(▲2.2%)。
- ◆ 発泡酒計は、プラス(▲5.9%)。
- ◆ 新ジャンル計は、微減(▲0.7%)。

《ビール》

- ビールカテゴリはプラス(▲2.2%)となったものの、新食感の生ビール「一番搾りフローズン〈生〉」の発売効果もあり、「一番搾り」の業務用の樽はプラスで着地。また、「フローズン黒」が好評だったこともあり「一番搾りスウト」は対前年約2割増。

《発泡酒》

- 発泡酒カテゴリはプラス(▲5.9%)となったものの、市場平均を上回った。
- 発泡酒市場に占めるシェアは7割を超え、年間としては過去最大を記録。

《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリは微減(▲0.7%)。「のどごし〈生〉」は、各社の新商品などの影響を受けマイナスとなったが、2005年の発売以来8連覇※を達成。また、糖質ゼロの「濃い味」は約1割のプラスで着地。

※2005年「その他の雑酒②」、2006年～2012年「その他の醸造酒(発泡性)①」課税出荷数量による。

以 上